



記

今回はカルメンに致しましょう。ご存知の曲や、メロディーでお馴染ですが、歌手によって、声だけでなく演技や演出で、印象が随分違います。ドン・ホセには三大テナーの一人、ホセ・カレーラスのを選びました。切々とした歌い方は私達をほろりとさせます。有名な“花の歌”（隅田川ではありません！）この名曲をじっくりお聞きください。

詳しい筋をご存じない方が意外に多いのですが、知る人も知らない人も是非この際、満喫して頂こうと、名場面だけ、映画仕立てのもの、昔の物、小沢征爾の大迫力のCD制作場面なども後で少しづつご参考までに、ご覧戴こうと思っております。

千両役者のドミンゴはこの役には立派過ぎて、なんで捨てられるのさと違和感満杯ですが、なるほどね・・・と、ご覧になるのもよろしいかと存じます。カルメンを殺した後も、放り出さずにそっと横たえる姿はやはり紳士・・・とファンは又感激するのです。

では皆様とお会いできる日を楽しみにしています。ご機嫌よう！

S29 青戸

